

県内初の大学接種開始

崇城大生ら600人「学業や就活安心」



新型コロナウイルスワクチンの接種を受ける
崇城大の学生 11日、熊本市中央区

崇城大(熊本市西区)は1日、県内の大学で初となる新型コロナウイルスのワクチン接種を始めた。接種を受けた学生からは「学業や就職活動に前向きになれる」といった声が聞かれた。

10人が接種を希望。1日270〜720人を対象に、1〜5日に1回目、29日〜8月2日に2回目を接種する。初日は崇城大で受け付けを済ませた学生らが、大学のバスで接種会場の熊本ホテルキャッスル(熊本市中央区)に移動。約8時間かけて約600人に接種した。建築学科3年の城

戸光明さん(21)は福岡県久留米市は「就職活動の企業訪問や学外の実習に安心して取り組みたい」と話していた。

県内の学内接種は、熊本保健科学大が9日から開始予定。熊本大や県立大なども接種を検討している。

(堀江利雅)